

第 33 回 マリンボールカップ女子 Bゾーン決勝 8月5日(日)

寄居スパークル(埼玉) 34 VS 53 剣崎 Wild Boars(横須賀)



- 1Q #8(峯岸)の力強いゴール下シュート、#6(新井)のスピードあるドライブで得点を重ね、良いスタートを切った寄居。しかし後半はなかなかシュートまでいけず、得点が止まった。対する剣崎は、#4(太田)が果敢に攻め続け1人で15点獲得。17-13と剣崎が4点リードで1Q終了。
- 2Q 剣崎は#5(高尾)、#8(木村)が強引なプレーでゴール下シュートを決めるが、後半は寄居のディフェンスに攻めあぐんだ。寄居は台形をしっかりと守り、とくに剣崎のセンター#5(高尾)を徹底マークし得点を抑えた。しかしオフェンスではシュートまで結び付けられず点差を縮めることができないまま前半を折り返した。25-20で剣崎5点リード。
- 3Q 終始剣崎ペースの3Q。カットイン、ミドルシュート、リバウンドシュートと着々と点を重ねる剣崎。一方で、寄居はパスミスが続き得点が取れずにタイムアウト。しかし、その後も苦しい展開が続き、39-23と大きく点差が開いた。
- 4Q 出だし#7(前田)のパスカットや#5(香取)ドライブで攻め気を見せた寄居。ディフェンスをがんばり、剣崎のセンタープレーをよく抑えた。両チームとも#4がゴール下での力強いプレーを見せ、チームを引っ張った。後半、寄居はオールコートでプレッシャーをかけるが点差は縮まらず53-34で剣崎が優勝を決めた。